



◆ 開発教育セミナー ◆

1989年に始まり、関西セミナーハウス活動センターの主要プログラムとして開発教育研究会を中心に行っています。安心して発信できる雰囲気を作り、対話を促進し、1泊2日の中で、人権・平和・環境・開発という地球的課題に取り組み、教材やアクションプラン作りをめざしています。しなやかに元気で学ぶの場を、みなさんの「参加」で作っていきましょう。



◆ すすめかた ◆

参加型学習の基本になる「話し合い」を軸にしたワークショップ形式で行います。

◆ タイムテーブル ◆ [第2～6回] (第1回は要項参照)

【1日目】	【2日目】
15:30 - 受付	8:00 - 朝食
16:00 - セッション①	9:00 - セッション③
18:00 - 夕食	12:00 - 終了
19:00 - セッション②	*2日目の昼食が必要な方は申し込み時に、ご予約下さい。(追加料金:1,150円予定)
21:00 1日目終了	

*新型コロナウイルス感染の状況により、中止・延期など予定変更の可能性がります。その場合は、ウェブサイトなどでお知らせいたします。

◆ 会場のご案内 ◆

京都市国際交流会館 (kokoka) (第1回)

- 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1
- 電話:075-752-3010 <http://www.keif.or.jp>
- 地下鉄東西線「蹴上(けあげ)」出口2から徒歩6分
- 市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」から徒歩10分、「南禅寺・疎水記念館・動物園東門前」から徒歩1分
- 駐車場 (有料)、駐輪場 (無料)

関西セミナーハウス (第2～6回)

- 地下鉄烏丸線「北山」出口2からタクシー10分
- 市バス「修学院道」「修学院駅前」、叡山電車「修学院」から徒歩20分
- 駐車場 (無料)



◆ 開発教育セミナー要項 ◆

対象: 開発教育に関心のある方。

定員: ①40名、②～⑥20名

参加費: 第1回 1,000円、第2～6回11,000円

申込み: 下記へ締め切り日までにお申し込み下さい。

- *各回要項をご確認ください。ウェブサイトでもご覧いただけます。
- *プログラムの構成上、できるだけ全日程でご参加下さい。
- *部分参加は事務局にご相談ください。
- *定員に達した場合、締め切ることがあります。
- *前日以降の取消・変更は、キャンセル料が発生することがあります。
- *当日、教材の展示・販売もあります。
- *宿泊は1人1室予定です。相部屋も可能です。

◎ 開発教育とは ◎

私たちひとりひとりが、開発をめぐるさまざまな問題を理解し、望ましい開発のあり方を考え、公正な地球社会づくりに参加することをねらいとした教育活動です。そのために、開発教育は次のようなことをめざしています。

- ・世界の文化の多様性を尊重する
- ・貧困や南北格差の現状と原因を理解する
- ・開発問題と地球的諸課題との関連を理解する
- ・世界と私たち自身とのつながりに気づく
- ・社会参加できる能力と態度を養う

(特活) 開発教育協会 (<http://www.dear.or.jp>) の定義より

【申込み・問合せ】

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23

電話:075-711-2117(直)

FAX:075-701-5256

Eメール:office@academy-kansai.org

<http://www.academy-kansai.org>



2023年度

～ 地球市民をめざして ～



開発教育セミナー

- 第1回 6月18日(日) <共催 京都市国際交流協会>
開発教育入門セミナー (会場:京都市国際交流会館)
～SDGsを自分ごとに～
・「貿易ゲーム」～教材体験から深い学びへ～
・「あなたに贈りたいチョコレート」
講師 開発教育研究会
- 第2回 7月8日(土)～9日(日)
地球と食の未来を考える
～人も自然も壊さない経済とは?～
講師 平賀緑 さん
- 第3回 9月9日(土)～10日(日)
私の“伝えたい”を探すワークショップ
講師 くるみざわしん さん
- 第4回 10月7日(土)～8日(日) フィールドワークあり(宇治市ウトロ地区)
ウトロで考える人権・平和
～これまでの活動に学び、多文化共生社会を創造しよう～
講師 金秀煥 さん
- 第5回 11月4日(土)～5日(日)
主体的に行動する市民を育む
～「南」の島の出会いの現場から～
講師 藤野達也 さん
- 第6回 12月10日(土)～11日(日)
マイクロアグレッションってなあに?
～日常に埋め込まれた差別と向き合う～
講師 北川知子 さん

主催:公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー-関西セミナーハウス活動センター 開発教育研究会

(第1回は、共催) <http://www.academy-kansai.org>

後援:京都市教育委員会、京都府教育委員会(申請中)、認定NPO法人 開発教育協会(DEAR)(申請中)

公益財団法人京都市国際センター

フリ ガナ
名前

参加を希望する回に、○をつけてください。

第1回 6/18 () 第2回 7/8-9 () 第3回 9/9-10 () 第4回 10/7-8 ()
第5回 11/4-5 () 第6回 12/2-3 ()

住所 (〒 -)
電話 () - ファックス () -
電子メール: @

通信欄

..... 2023年度 開発教育セミナー申込書



◇ ごあいさつ ◇

今なお続くロシアによるウクライナ軍事侵攻は、暴力の連鎖、格差と不平等の拡大、気候危機、分断の深刻化など、SDGsの達成をことごとく遠ざけています。この軍事侵攻で、食料やエネルギーの輸入に依存する私たちの暮らしの脆弱性が顕在化しました。

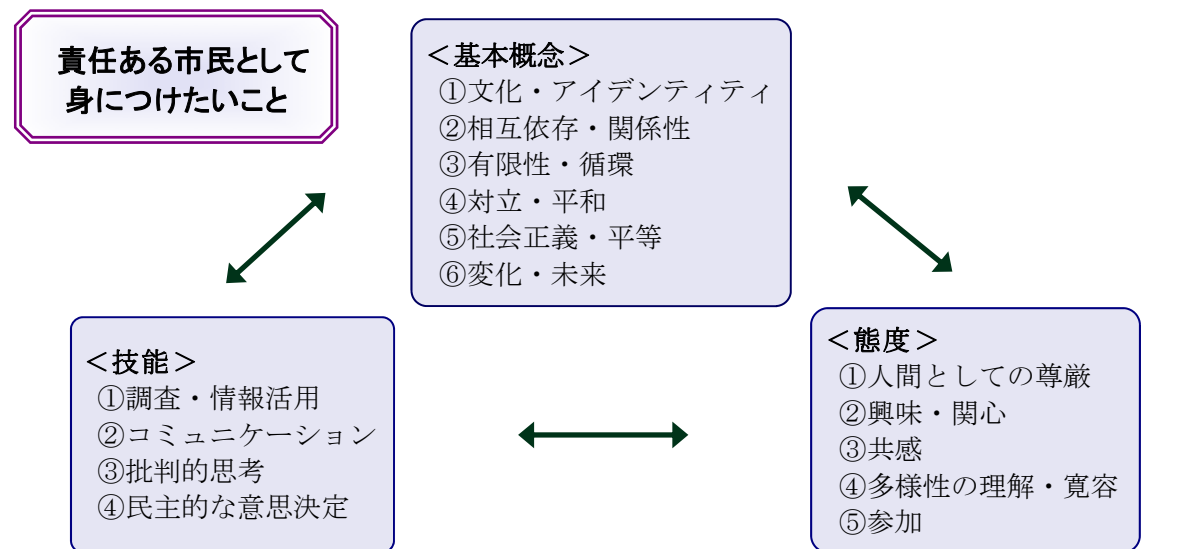
毎年1月に開かれる世界経済フォーラム(ダボス会議)の今年のテーマは「分断された世界における協力の姿」でした。総裁のボルゲ・ブレンデは閉会の辞で「今回の年次総会では特に食料、エネルギー、気候という最も緊急な危機への取り組みで進展が見られた」と述べました。

一方、国際NGOオックスファムは、ダボス会議へのアンチテーゼとして、世界の経済状況を示す統計を発表しており「世界上位1%の富裕層が過去2年間で新たに獲得した資産は、残る99%が獲得した資産のほぼ2倍に上り、コロナ禍で超富裕層の富の蓄積は加速している」、「普通の人たちが食品など日常の必需品を犠牲にしている一方で、超富裕層は予想以上に大きな夢をかなえている」と報告しています。


国内に目を向けると、経済の長期低迷、非正規雇用の増加、コロナウィルスの影響などを背景に、貧困問題が深刻化しています。現実に向き合い、解決への道筋を考えると、それらに対する捉え方や関わり方も経験や立場などによって異なります。また、多くの人が生活不安を抱える一方で、政治への無関心と無力感が広がり、経済的な格差や政治的な意見の衝突などから生まれる社会の分断も進行しています。

今年度の開発教育セミナーは、基本に立ち返って不公正や不平等、排除が再生産される構造を問い、あらためて「平和で公正な社会」「豊かさの意味」「私たちの関わり」を考えてみたいと企画しました。参加者一人ひとりの声を大切に、絶望することなく対話の可能性を探り、創りたい社会のイメージを共有し、一歩踏み出す機会にしたいと思えます。みなさんとお会いできるのを楽しみにしています。

関西セミナーハウス活動センター 開発教育研究会



当セミナーから生まれた開発教育教材集『新しい開発教育のすすめ方』、『同Ⅱ 難民』(古今書院)、『身近なことから世界と私を考える授業』、『同Ⅲ』(明石書店)を、セミナー時には、割引価格で販売します。



第1回 6月18日(日) 会場:京都市国際交流会館(kokoka)
開発教育入門セミナー～SDGsを自分ごと～

[共催](公財)京都市国際交流協会 講師:関西セミナーハウス活動センター 開発教育研究会

- ①「貿易ゲーム」～教材体験から深い学びへ～
貿易ゲームは、世界経済の動きを体験するシミュレーションゲームです。開発教育の教材として長く、広く活用されてきました。初めての人も、今までの実践を見直してみたい人も、ぜひ一緒に体験し、このアクティビティからのメッセージを読み解きましょう。開発教育協会(DEAR)の教材『新・貿易ゲーム』を使用します。 <https://www.dear.or.jp/books/book01/1149/>
- ②「あなたに贈りたいチョコレート」
カカオ豆からチョコレートが作られ、私たちの手元に届くまでには人権・環境など様々な問題が起こっています。生産過程をたどり、生産者も消費者も地球も大切にしたいチョコレート生産のしくみづくりを学び、私たちにできることを一緒に考えましょう。

第2回 7月8日(土)～9日(日)
地球と食の未来を考える～人も自然も壊さない経済とは?～

講師:平賀緑さん(京都橋大学経済学部)
パンデミック、ウクライナ紛争、気候危機により、物価が高騰するだけでなく、一人ひとりの食といのちが大きな危機にさらされています。露わになった脅威が、脆弱な国や地域の人々をさらに深刻な状況に追い込んでいます。その大きな要因である世界のフードシステムを読み解きながら、地球と食の未来を考えていきましょう。

第3回 9月9日(土)～10日(日)
私の“伝えたい”を探るワークショップ

講師:くるみざわしんさん(劇作家・精神科医)
私たちは、これまで世界が直面する課題を自分ごととして考える学びの場をめざし、学校教育や社会教育にとりくんできました。しかし、その中で本当に伝えたい「思い」を伝えることができているのでしょうか? この問いを基本に、今回のセミナーでは、何か特定のテーマについて知識を得たり手法を学んだりするのではなく、自分の“伝えたい”を探ります。くるみざわさんの演劇づくりを手がかりに、自身の経験をふりかえり、語り、問いかける体験を通して、ともに考えましょう。

第4回 10月7日(土)～8日(日) **フィールドワークあり(宇治市ウトロ地区)**
ウトロで考える人権・平和～これまでの活動に学び、多文化共生社会を創造しよう～

講師:金秀煥(キム・スファン)さん(ウトロ平和祈念館副館長)
ウトロは戦時下に「京都飛行場建設」の飯として生まれ、今も在日コリアンが多く居住する地域です。2022年4月、住民と周りの地域の人々に開かれた交流の拠点として、ウトロ平和祈念館が誕生しました。前年に起きた放火事件の背景には、社会不安が広がる中で助長されるデマや偏見と、歴史的な差別の事実をなかつたこととする人々の言動がありました。在日コリアンと問題解決を願う日本人がともに築いてきたウトロの活動には、これからの共生社会のヒントがあります。直接出会い、声を聴くことから私たちの行動を始めましょう。

第5回 11月4日(土)～5日(日)
主体的に行動する市民を育む～「南」の島の出会いの現場から～

講師:藤野達也さん(Evangelical Lutheran Church PNG, Lutheran Development Service)
参加型学習・ワークショップは、社会教育や学校教育など、様々な現場で取り入れられています。それは、地球上の問題と自分とのつながりに気づき、問題解決のために行動する市民性を育む学びのあり方としてつくり出されたものです。藤野さんは、国際協力の現場で活動し、「気づき→学び→行動」をコンセプトとした関西NGO大学で長く校長を務められました。近年、バブアニューギニアで村人とともに暮らした経験のお話もうかがい、社会課題を自分事として捉え、主体的に行動する市民を育むために、どのようなことを大切に、工夫できるのか、共に学び合ひましょう。

第6回 12月2日(土)～3日(日)
マイクロアグレッションってなあに?～日常に埋め込まれた差別と向き合う～

講師:北川知子さん(特定非営利活動法人とんだばやし国際交流協会)
「マイクロアグレッション」という言葉が注目されるようになりました。みなさんは、「ブラジル出身ならサッカーが得意ですね」「女性なのに管理職ってすごいですね」という発言についてどのように感じるでしょうか。マイクロアグレッションとは、日頃の人との関わりの中で「無意識」のうちに相手を差別したり、傷つけたりすることで、「自覚なき差別」とも訳されます。私たちが構造的な差別を助長する当事者になっているという現状を理解し、どのように向き合うべきかについて共に考えましょう。